令和７年度事業報告

昭和から平成、令和にかけて生活様式の洋風化等が進み、主食である米の消費量が減少する一方で、飼料や諸資材を海外に依存している畜産物の消費量は増大、輸入割合も増加してきました。

昨今の世界的な異常気象による農作物生産の減少やウクライナ、ロシアでの戦争による穀物価格の高騰、中東情勢の混乱による燃油の供給不安、さらには円安などにより、過去にない急激な物価上昇で国民生活は苦しい状況が続いています。

畜産においても、生産コストの大半を占める輸入配合飼料や乾牧草価格が高止まりするとともに燃油、諸資材も上昇、一方販売価格は物価高騰により消費量が減少していることで低迷し厳しい経営状況が続きました。

特に高価格帯である和牛肉消費は消費者の生活防衛意識の高まりから価格が伸び悩んでおり、一方では繁殖雌牛の減少等から子牛の生産頭数が減少、和子牛価格は堅調に推移するも、肥育農家の資金繰りの悪化、収益性の低下が懸念されています。

また、生乳は毎日生産され、貯蔵性がないことから需要に応じ飲用と乳製品の仕向け量を調節することが不可欠であるが、人口減少もあり牛乳の消費量が年々減少してきています。生乳取引価格は民間の交渉により生乳の需給状況、生産コスト等を反映しながら決定、令和４年度以降、生産資材の上昇を受けて総合乳価が累次引き上げされてきましたが、再生産可能な適正価格とは、まだまだ言えない状況であります。

このため畜産協会は、肉用牛経営では、経営安定対策として子牛、肥育牛の価格安定制度や経営診断を通じた支援事業に取り組むとともに、酪農経営における労働負担軽減のための機械装置、自給飼料関係機械装置の導入、酪農ヘルパーの取り組みを支援してきました。また、飼料費の削減を図るため、コントラクター組織と連携し、稲ＷＣＳの生産拡大や専用品種への転換による品質の向上、トウモロコシや牧草生産、稲わらの収集を推進しました。

加えて、和牛入門講座の開設や女性を対象とした研修会の開催等により、担い手の確保やリーダーの育成に努めるとともに、おかやま四ツ☆子牛の推奨による有利販売など生産コストの削減や生産性向上への取り組みを進め、持続可能な経営環境の保持を支援してきました。

衛生対策では、家畜保健衛生所と連携し、牛伝染性リンパ腫及び牛ウイルス下痢症の検査、牛異常産ワクチンの接種推進、農場飼養衛生管理強化指導などにより伝染病の清浄化や発生防止に取り組みました。また、農場ＨＡＣＣＰ認証の取得推進、厳正で公正な生乳検査を通じて安全で安心な畜産物の供給に努めました。

畜産業は、耕種農家が利用困難な山間地、条件不利な地域での草地利用や林間放牧による土地利用、荒廃農地の有効活用、景観維持だけでなく、畜産関連産業の裾野が広く地域の雇用確保にも繋がることからも、農山村地域の維持活性化に大きく貢献できると考えており、畜産協会としても、引き続き積極的に事業展開し、経営支援に努めていく所存であります。

終始ご指導とご協力をいただいた農林水産省及び中央団体、そして岡山県及び県内関係機関の皆様に心からお礼を申し上げます。

各事業の実施内容は次のとおりです。

1　総会及び役員会

（1）総会

期　　日	場　　所	内　　容
定時総会 令和7年6月17日	ピュアリティまきび 「橘」	議　　事 第１号議案　令和６年度事業報告及び決算について 第２号議案　令和７年度事業計画及び予算について 第３号議案　令和７年度会費の額及び徴収方法について 第４号議案　令和７年度借入金最高限度額について 第５号議案　令和７年度役員報酬の支給額について 第６号議案　役員の改選について 第７号議案　その他 報 告 事 項　公益目的支出計画実施報告について

（2）理事会

期　　日	場　　所	内　　容
令和7年5月28日	岡山県農業会館２階 全国農業協同組合連合会岡山県本部 第１会議室	議　　事 第１号議案　令和６年度事業報告及び決算について 第２号議案　令和７年度事業計画及び予算並びに関連項目について 第３号議案　公益目的支出計画実施報告について 第４号議案　役員の改選について 第５号議案　定時総会提出議案について 第６号議案　その他
令和7年6月17日	ピュアリティまきび 「飛鳥」	議　　事 第１号議案　顧問、会長、副会長、専務理事の選任並びに代表理事、業務執行理事の選任について 第２号議案　役員報酬並びに費用等の支給関する規定の改正について 第３号議案　役員報酬の支給について 第４号議案　その他
令和7年11月7日	岡山県農業会館２階 全国農業協同組合連合会岡山県本部 第１会議室	報 告 事 項　代表理事の職務執行状況報告について 業務執行理事の職務執行状況報告について 議　　事 第１号議案　令和７年度予算の補正について 第２号議案　令和７年度上期事業実施状況と下期の見通しについて 第３号議案　肉用子牛業務対象年間終了時の生産者積立準備金の処理について 第４号議案　育児・介護休業等に関する規程の改正について 第５号議案　その他

期　　日	場　　所	内　　容
令和8年3月12日	岡山県農業会館２階 全国農業協同組合連合会岡山県本部 第１会議室	報告事項　令和７年度事業実績及び決算の見込みについて 令和７年度債券運用報告について 代表理事の職務執行状況報告について 業務執行理事の職務執行状況報告について 議　　事 第１号議案　令和８年度事業計画及び予算について 第２号議案　給与支給細則の一部改正について 第３号議案　令和８年度執行体制について 第４号議案　その他

（３）監事会

期　　日	場　　所	内　　容
令和7年5月23日	岡山県農業会館５階 畜産協会役員室	令和６年度事業報告、計算書類及びその附属明細書、公益目的支出計画実施報告

2　事業実績

（1）事業概要

本協会は、畜産経営の安定的発展と畜産の振興に寄与することを目的に以下の５種類の事業を実施した。

① 畜産経営安定のための経営技術支援、調査研究、情報提供、技術知識の普及啓発
② 一般消費者等への畜産及び畜産物の各種情報提供、知識の普及・啓発
③ 畜産経営の安定のための各種補てん金、補給金の交付
④ 家畜の健康保持及び畜産物の生産衛生に係る技術指導及び自衛防疫の推進
⑤ 生乳取引の公正化のための検査及び生乳品質向上の指導

（2）公益目的事業

1)　公益目的事業１

畜産経営の安定と、安全な畜産物の安定供給に資するための事業を実施した。

事業名	事業概要	実施内容
自衛防疫活動強化対策支援事業 (岡山県畜産協会)	・家畜伝染病の発生を予防するため、牛異常産ワクチンの接種を支援した。 ・農家等の農場ＨＡＣＣＰ認証取得支援等を実施し、自衛防疫活動の促進と生産性の向上を図った。 ・家畜疾病の予防や暑熱対策を行うため、石灰乳塗布機を畜産農家に貸し出した。	① 牛異常産ワクチン接種支援　6,327頭 ② 農場ＨＡＣＣＰ認証審査支援　3農場 ③ 石灰乳塗布機貸出　2農場

2)　公益目的事業２

酪農収益の改善に資するため、生乳品質向上の指導を実施した。

事業名	事業概要	実施内容
生乳品質向上対策事業 (岡山県畜産協会)	粗飼料自給率の高い農家について、土壌検査を実施するなど、生乳成分や衛生品質の向上を支援した。	乳質改善指導支援のための検査実施 土壌検査の実施 14戸 35点

（3）継続事業

1） 継続事業１

畜産経営の安定に資するため、経営技術支援、調査、情報提供、技術知識の普及啓発事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
畜産経営技術高度化促進事業 （岡山県）	本年度、県が策定した「岡山県酪農・肉用牛生産近代化計画書」の作成支援とともに、飼料高騰による畜産危機の現状を踏まえ、畜産経営の経営診断を通じた現状分析や、診断結果と連動した飼養管理指導を県関係機関等と実施し、併せて政策金融公庫等金融機関と連携し、融資計画の作成など効果的な支援・指導活動を行った。また、酪農経営支援チームにおける経営指導の取り組みを、和牛農家についても岡山和牛子牛資質向上対策協議会において実施した。 各種セミナーや研修会等を実施するなど、畜産経営における担い手などの育成を進めるとともに、和牛繁殖経営においては、他産業等からの担い手の確保のための和牛入門講座及びフォローアップ研修としての和牛未来塾を開催した。	酪農経営支援チーム推進会議 4回 和牛子牛資質向上対策協議会幹事会等 15回 経営分析指導等 31件 酪近計画会議 3回 和牛入門講座 受講生 2名 研修 2回 牧場体験実習 4回 和牛未来塾 2回 和牛シンポジウム 1回 HPアクセス数 774千ページ
耕畜連携体制強化対策事業 （岡山県）	飼料価格高騰対策として、研修会や座談会を開催し、県産飼料の増産・利用拡大や耕畜連携による飼料用稲の作付面積拡大を推進するとともに、推進の中核となる岡山県コントラクター協議会の支援を行った。	県産飼料利用拡大研修会 1回 飼料生産と農地保全に係る座談会 1回 コントラター研修会 1回
畜産特別資金推進指導事業 （中央畜産会）	畜産リノベ資金借受者の経営体質強化のため、定期的な経営状況の把握を行うとともに、経営分析に基づく濃密指導を実施し、融資機関に対する指導を行った。あわせて、酪肉支援資金の適切かつ円滑な活用を図るため、経営指導と連動した資金検討を行った。 また、多額の投資を行っている経営等をモニタリングし、関係機関と共有することで畜特資金借入が必要な経営の早期把握及び経営支援に努めた。	協議会開催 5回 濃密指導 2戸 現地指導 4回 セミナー 1回 モニタリング対象 酪農 5件 和牛繁殖 7件
岡山県畜産ヘルパー事業円滑化対策事業 （岡山県、市町村、関係団体）	県、関係団体で造成した基金を活用して、以下のヘルパー活動に対し助成した。 ①ヘルパー派遣活動 ②酪農経営安定化支援ヘルパー事業で取り組む事業	酪農ヘルパー派遣旅費の一部に対する支援 安定化支援ヘルパー事業に係る自己負担部分の一部に対する支援

事業名	事業概要	実施内容
酪農経営安定化支援ヘルパー事業 （農畜産業振興機構）	ゆとりや生産性の高い酪農経営の実現及び担い手の確保に資するため、以下の事業を実施した。 ①酪農の担い手となる酪農ヘルパー人材育成支援 ・酪農ヘルパー実践研修手当支援 ・酪農ヘルパー資質向上を図るための研修会の開催 ・臨時ヘルパー実践研修者の住宅・通勤手当支援 ・臨時ヘルパー出役経費支援 ②傷病時利用の円滑化 ・互助制度に基づく酪農ヘルパー料金の負担軽減 ③利用組合の強化 ・推進協議会の開催 ・広域利用等による出役調整 ・傷害補償保険及び財物賠償保険の加入促進 ・防疫計画作成及び防疫機器等の整備	臨時出役　１回1,000円×596回／年 傷病利用　延べ35人 ヘルパー事業推進会議　1回 ヘルパー研修会　1回 総距離30km以上の派遣に対する燃料費支援　2,671千円 保険料に対する補助　710千円 防疫資材導入補助　154千円 防疫対策会議開催　1回
肉用牛経営安定対策補完事業 （農畜産業振興機構）	肉用牛ヘルパー活動支援等による肉用牛生産基盤の安定化を図るため、各地域において肉用牛生産振興への取組を行うＪＡ及び肉用牛ヘルパー組合等に対し補助を実施した。 肉用牛ヘルパー推進（活動経費補助）	ヘルパー組合 2組合（新見市和牛改良組合、津山肉用牛ヘルパー組合）
広報事業	「岡山畜産便り」を編集・発行し、県内外の指導者及び畜産経営者に情報提供を図る。また、中央畜産会が発行する畜産コンサルタント誌等畜産関係優良図書を斡旋した。	畜産便り　年6回発行 1回 720部
畜産振興対策事業 （岡山県畜産協会）	各種共進会及び畜産関連イベントに職員の派遣や、賞品の提供等の支援を行った。特に今年度は、全日本ホルスタイン共進会があり、現地にて激励を行った。	枝肉共進会等　21名 賞品賞状の交付　4件
地域畜産生産性向上対策事業（岡山県畜産協会）	肉用牛経営の活性化を図るため、関係機関との連携のもと、生産性向上の地域勉強会や先進事例の調査・分析を行い、肉用牛経営の収益性の向上と生産基盤の強化に取り組んだ。	研修会開催　4回 参加者　延べ116名

2)　継続事業２

畜産経営の安定に資するため、各種補填金、補給金を交付する事業を以下のとおり実施した。

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業概要</th><th>実施内容</th></tr>
<tr><td>肉用牛肥育経営安定交付金制度
（農畜産業振興機構）</td><td>肉用牛肥育経営の安定化と肉用牛生産基盤の拡大に資するため、あらかじめ個体登録され、出荷した肉用牛に対し、その月毎の粗収益が生産費を下回った場合、その差額の9割について、交付金を交付するとともに、事業の推進指導を行った。
なお、交付金額に4分の1を乗じた額は生産者積立金より支払った。

○生産者負担金単価　(円/頭)<table><tr><th></th><th></th><th>肉専用種</th><th>交雑種</th><th>乳用種</th></tr><tr><td>令和７年４月
～
令和８年３月</td><td>契約生産者
岡山県</td><td>4,580
420</td><td>16,580
420</td><td>17,580
420</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>5,000</td><td>17,000</td><td>18,000</td></tr></table>○交付金単価　(円／頭)<table><tr><th colspan="2"></th><th>肉専用種</th><th>交雑種</th><th>乳用種</th></tr><tr><td rowspan="12">令和
７年</td><td>１月</td><td>621.9</td><td>0.0</td><td>53,238.6</td></tr><tr><td>２月</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>32,234.4</td></tr><tr><td>３月</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>21,478.5</td></tr><tr><td>４月</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>21,422.7</td></tr><tr><td>５月</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>29,549.7</td></tr><tr><td>６月</td><td>0.0</td><td>6,866.1</td><td>27,264.6</td></tr><tr><td>７月</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>41,716.8</td></tr><tr><td>８月</td><td>0.0</td><td>7,277.4</td><td>33,453.9</td></tr><tr><td>９月</td><td>0.0</td><td>10,432.8</td><td>33,977.7</td></tr><tr><td>10月</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>9,699.3</td></tr><tr><td>11月</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>24,517.8</td></tr><tr><td>12月</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>64,852.2</td></tr></table></td><td>個体登録頭数
（令和7年4月～令和8年3月）
肉専用種　3,683頭
交雑種　9,752頭
乳用種　920頭
計　14,355頭

補填金交付実績
（令和7年1月～12月販売分）
肉専用種　202頭
(2,235頭)
125,606円
(122,402,884円)
交雑種　2,446頭
(3,975頭)
19,764,081円
(61,966,937円)
乳用種　938頭
(1,438頭)
30,901,853円
(51,852,733円)
計　3,586頭
(7,648頭)
50,791,540円
(236,222,554円)
※（　）は前年度値</td></tr>
<tr><td>肉用子牛生産者補給金制度
（農畜産業振興機構）</td><td>肉用子牛生産の安定を図るため、肉用子牛の四半期毎の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象に、その差額を生産者補給金として交付する制度であるが、今年度は全品種とも保証基準価格を上回って推移したため、補給金の交付はなかった。</td><td>個体登録頭数
黒毛和種　4,555頭
褐毛和種　0頭
交雑種　234頭
乳用種　131頭
その他の肉専用種　0頭
計　4,920頭</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業概要</th><th>実施内容</th></tr>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><th>価格
品種</th><th>保証基準価格
（円/頭）</th><th>合理化目標価格
（円/頭）</th></tr>
<tr><td>黒毛和種</td><td>574,000</td><td>446,000</td></tr>
<tr><td>褐毛和種</td><td>523,000</td><td>406,000</td></tr>
<tr><td>その他の肉専用種</td><td>334,000</td><td>259,000</td></tr>
<tr><td>乳用種</td><td>164,000</td><td>110,000</td></tr>
<tr><td>交雑種</td><td>274,000</td><td>216,000</td></tr>
</table>
（業務対象期間　5年間　令和7～11年度）
</td><td></td></tr>
<tr><td>肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業
（農畜産業振興機構）</td><td>肉用子牛生産者補給金制度に係わる業務の適正な実施等を図るため、ＪＡ等事務委託先の協力を得て、生産者補給金交付契約及び個体登録、負担金の受入・基金造成・補給金の交付、契約肉用牛の販売・保留確認、家畜市場データの収集・整理、事務委託先及び契約生産者に係る現地調査・指導を実施した。</td><td>事業委託先
農協等　6団体</td></tr>
<tr><td>指定協会運営体制支援事業
（農畜産業振興機構）</td><td colspan="2">肉用子牛生産者補給金制度の運営体制の強化を図るための推進活動に努めた。</td></tr>
<tr><td>黒毛和種新規契約奨励事業
（岡山県畜産協会）</td><td>肉用子牛生産者補給金制度への加入促進を図るため、新規に個体登録する契約生産者に対し、奨励金として交付（生産者負担金相当額（400円）を助成）した。</td><td>交付内訳
生産者　61名
交付頭数　297頭
交付額　119千円</td></tr>
<tr><td>肉豚価格安定事業
（岡山県・全農）
肉豚経営安定交付金制度
（農畜産業振興機構）</td><td>肉豚経営の安定を図るため、農畜産業振興機構や生産者等が基金を造成し、標準的販売価格が標準的生産費（四半期毎に算定）を下回った場合に、その差額の9割について補填金を交付するものであるが、堅調な枝肉価格の推移により、今年度の補填金の交付はなかった。
負担金の額
機構：生産者等＝1,200円：400円
（事業実施期間　3年間　令和6年度～令和8年度）</td><td>事業登録頭数
62,719頭</td></tr>
</table>

3)　継続事業３

畜産物の生産衛生に係る技術指導及び自衛防疫の推進に関する支援を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
岡山県自衛防疫強化対策推進事業 （岡山県）	家畜衛生対策の推進を図るため、地域推進会議、ワクチン需給調査、農家・畜産関係者等への広報、ワクチンの接種推進を行った。	地域推進会議　4回 ワクチン需給調査　毎月 広報部数　800部
特定疾病自衛防疫推進事業 （岡山県）	県の補助によりワクチン接種を組織的に実施し、鶏ニューカッスル病の発生予防を支援した。	実施予定羽数 鶏　11,937千羽
家畜生産農場衛生対策事業 （農林水産省）	・ヨーネ病対策 ヨーネ病発生農場の患畜と疫学的に関連が高い牛のとう汰に対して助成するものであるが、とう汰はなかった。 ・牛伝染性リンパ腫対策 牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止を図るため、発生農場等での陽性牛を確認するための検査を行ったが、感染源となる高リスク牛のとう汰はなかった。 ・牛ウイルス性下痢（ＢＶＤ）対策 感染拡大防止を図るため、ＰＩ牛（ウイルスを持続して保有・排出し、感染源となる牛）を摘発する検査を行い、ＰＩ牛のとう汰に対して助成したが、摘発農場でのワクチン接種はなかった。 ・牛サルモネラ症対策 牛サルモネラ症のまん延防止及び早期清浄化を図るため、発生農場でのワクチン接種に対して助成するものであるが、接種はなかった。 ・農場飼養衛生管理強化対策 飼養衛生管理を向上させるため、指導チェック表を作成し、指定獣医師等による農場指導を行った。 ・伝染病発生防止の推進 家畜の伝染性疾病の発生、流行防止を推進するため牛異常産ワクチンの接種を推進した。	検討会議等　5回 牛伝染性リンパ腫検査 1,900頭 同　証明書　5件 ＰＩ牛摘発検査　550頭 ＰＩ牛のとう汰　1頭 農場巡回指導 140戸×2回 牛異常産ワクチン接種 6.376頭

事業名	事業概要	実施内容
家畜防疫互助基金支援事業 （中央畜産会）	口蹄疫、豚熱等越境性動物疾病の発生に備え、生産者の損失を互助補償するための基金造成事業。 今期実施期間（令和6～8年度）。 本年度は、今期実施期間の中間年度であり、前年度からの変更手続き、事業参加者への飼養衛生管理基準遵守の指導を行った。また、豚熱の続発による基金不足への対策として、豚に係る生産者積立金の追加徴収を行った。	加入戸数(7年度末) 牛　271戸 乳用牛　128戸 肉用牛　174戸 豚　9戸 農家積立金　11,580千円

（4）その他事業

1)　その他事業１

畜産経営の安定に資するため、経営技術支援、調査、情報提供、技術知識の普及啓発事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要
畜産経営技術指導事業 （地方競馬全国協会）	地方競馬全国協会の支援の下、①国際化に対応しうる競争力の高い担い手の育成・確保に取り組む業務、②消費者に対する地域畜産の理解の増進業務、③馬事畜産振興普及啓発業務、④畜産を核とした地域の活性化業務を実施した。

2)　その他事業２

畜産経営の安定に資するための各種補填金、補給金を交付する事業を補完するための事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
マル緊特別事業 （岡山県畜産協会）	肉用牛肥育経営安定交付金制度を補完し、円滑に事業を推進するため、事務委託先に対する支援や調査・指導等を実施した。	事務委託先　4ヵ所
肉用子牛価格安定対策特別事業 （岡山県畜産協会）	肉用子牛生産者補給金制度を補完し、登録業務の円滑な実施に努めた。	個体登録頭数　4,920頭

3)　その他事業３

自衛防疫の推進するための事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
予防注射事業 （岡山県畜産協会）	家畜の伝染性疾病の発生を防止するため、牛ボツリヌス症などの届出伝染病以外も含めて、各種予防注射を計画的に実施した。 ＜主なワクチン接種実績＞ 牛異常産4種混合　6,327頭 牛ＩＢＲ5種混合　1,176頭 牛ＩＢＲ6種混合　3,499頭 鶏（ＮＤ、ＮＢ）　11,937千羽	実施頭羽数 牛　26,920頭 鶏　11,937千羽

4)　その他事業４

生乳取引の公正化並びに生乳品質向上のための検査を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
生乳検査受託事業 生乳格付検査事業 （中国生乳販連）	中国生乳販売農業協同組合連合会と畜産協会による業務委託に基づき、生乳の格付検査を行い、生乳の公正かつ円滑な取引と品質向上に努めた。 （格付受託検査） ・検査回数：3回／月（上旬・中旬・下旬） ・乳業者：オハヨー乳業(株)他中国地区内乳業者 ・検査乳量：15.082ﾄﾝ程度／月 ・検査料：0.05円／kg	総検査乳量 180,984ﾄﾝ
生乳成分検査事業 （中国生乳販連）	中国生乳販売農業協同組合連合会等からの受託により、生産者ごとの乳成分や細菌数の検査及び牛群検定農家個体別乳成分検査を行い、乳牛の飼育管理や乳質の向上に努めた。 （検査項目） 脂肪率・蛋白質・乳糖・無脂乳固形分率・全乳固形分率・体細胞数・細菌数・種別体細胞・脂肪酸組成 （検査料） ・取引検査：0.1円／kg（農家生産量） （農家別分配・細菌検査） ・牛群検定検査：50円／件 ・指導検査：100円／件 ・組合員外検査：1,500円／件	農家別分配・細菌検査 278,061ﾄﾝ 牛群検定検査 175,872件 指導検査　27,720件 組合員外検査　446件

5)　その他事業のその他

本協会の設立目的を達成するため、以下事業を実施した。

事業名	事業概要	実施内容
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター機械導入事業） （中央畜産会）	地域の畜産関係者が一帯となって畜産の収益性の向上を図る計画を策定して、飼料の生産基盤強化や耕畜連携による飼料自給率向上等に取り組む畜産クラスター協議会の取り組みに対し、（公社）中央畜産会が支援を行う業務の一部を県窓口団体として実施し、事業の推進、参加申請書の取りまとめ業務等を行った。	導入要望調査　2回 協議会数　8 機械件数　20 要望金額　159,789千円
畜産クラスター全国推進事業実態調査 （中央畜産会）	畜産クラスターに係る取り組みを推進するため、先進的な経営体を対象に経営調査を実施した。	調査実施経営 酪農　5戸 肉用牛繁殖　5戸
畜産クラスター全国推進事業改善効果調査 （中央畜産会）	畜産クラスター事業を実施した畜産経営体等を対象に畜産クラスター事業活用前後の経営内容に係る調査を実施した。	調査実施協議会 酪農　1戸
畜産クラスター全国推進事業優良事例調査 （中央畜産会） 【新規】	畜産クラスター事業を実施した協議会を対象に、施設整備事業及び機械導入事業等の効果を確認するためのアフターフォロー調査に協力した。	調査実施数　1協議会
生産技術情報提供事業 （中央畜産会）	家畜の生産技術情報に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータの収集及びその分析結果に基づく助言指導を実施した。	酪農経営　3戸 和牛繁殖経営　2戸
全国優良畜産経営管理技術発表会 （主催：中央畜産会）	経営診断等により明らかにされた優秀な実績を収めている、または課題解決に取り組んでいる畜産経営を推薦し、畜産経営による事例発表の支援を行った。	推薦事例　1戸 高梁市の江草孝一・真弓夫妻が農林水産省畜産局長賞を受賞
全国自給飼料生産コンクール （主催：日本草地畜産種子協会）	自給飼料生産に携わる優良な経営を県内に広く求め、調査・表彰を受けることで、優れた取り組みの普及拡大や関係機関の連携強化を図った。	推薦事例　1戸
近代化リース調査事業 （近代化リース協会）	（公財）畜産近代化リース協会が農家に貸し付けた機械施設の確認調査と、適正利用について補助事業に連動した巡回指導を行うとともに、研修会等でPRを行い、新規利用拡大を図った。	確認指導　12戸 19物件 新規開拓ＰＲ　3回

事業名	事業概要	実施内容
ICT化等機械装置等導入事業 （中央畜産会）	畜産農家の労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入を支援した。	推進会議の開催　1回 現地調査　1回 畜産応援会議の運営支援
酪農労働省力化対策事業 （中央畜産会）	酪農を営む者に対し、その実情に応じた経営体質強化に資する先進的機器の導入と一体的な施設の整備を支援した。	
飼料生産基盤に立脚した酪農・肉用牛生産支援推進事業 （中国四国農政局） 【組替】	おかやま酪農協組合員以外の酪農家を対象に奨励金を交付するための要件である良質な飼料の生産に対する取組等内容の推進活動を行った。	事業参加者　0名
国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業 （日本草地畜産種子協会）	飼料生産の規模拡大を行う飼料生産組織に対し補助金を交付するため、各種申請書類の確認、取りまとめを行った。	事業参加者　1組織
畜産経営高度化指導推進事業 （中央畜産会） 【新規】	畜産経営指標活用指導資料の作成に係る課題別経営事例調査を実施した。	アンケートへの調査協力　1回 調査票提出　1回
畜産に関わる仕事の理解推進事業（出前授業の実施） （中央畜産会） 【新規】	農業高校生等を対象に肉用牛に関わる仕事への理解促進を図り、将来の肉用牛生産業の担い手確保に繋げることを目的に生産者の現場の生の声を届ける出前授業を実施した。	出前授業　2回
畜産女性活動支援事業 （畜産協会）	県内の畜産経営の中核的な役割への女性参画の拡大と女性の地位向上を図るために、女性自身の経営者能力の向上等を図る広域的な研修会へ助成を行った。	現地視察等研修　2回
優良繁殖雌牛更新加速化事業 （全国肉用牛振興基金協会）	生産された肉用子牛が低価格で取引される傾向が顕著な高齢の繁殖雌牛を、畜産クラスター計画に位置付けられた取組主体の構成員であって、育種価要件等を満たす優良な繁殖雌牛に更新した生産者に奨励金を交付するため、取組主体等に対し事業推進を図った。	取組主体　２ＪＡ 補助金交付頭数及び金額 137頭　15,100千円

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業概要</th><th>実施内容</th></tr>
<tr><td>優良和子牛生産推進緊急支援事業
（農畜産業振興機構）</td><td>肉用子牛生産者補給金制度を補完するため、和子牛のブロック別平均価格が発動基準を下回った場合に、飼養管理向上に取り組む生産者に対し、下表に応じて奨励金を交付する事業であるが、子牛価格の回復により、交付はなかった。
対象期間：令和7年4月～令和8年3月
【黒毛和種】<table><tr><th>発動基準(税込)</th><th>必要取組数</th><th>奨励金単価</th></tr><tr><td>61万円未満</td><td>2つ</td><td>1万円／頭</td></tr><tr><td>59万円未満</td><td>3つ</td><td>2万円／頭</td></tr><tr><td>58万円未満</td><td>4つ</td><td>3万円／頭</td></tr></table></td><td>事業参加者　268名</td></tr>
<tr><td>和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業
（農畜産業振興機構）【新規】</td><td>優良和子牛生産推進緊急支援事業に加えて、和子牛のブロック別平均価格が発動基準を下回った場合に、産地基盤強化に取り組む和子牛生産者に対し、奨励金1万円を交付する事業であるが、上記事業同様に交付はなかった。
対象期間：令和7年4月～令和8年3月</td><td>事業参加者　271名</td></tr>
<tr><td>馬伝染性疾病防疫推進対策事業
（中央畜産会）</td><td>競走馬以外の乗用馬等に馬インフルエンザワクチンの接種を推進した。</td><td>地域推進会議　2回
実施頭数　145頭</td></tr>
<tr><td>育成馬等予防接種推進事業
（中央畜産会）</td><td>競馬場入厩前の育成馬に馬インフルエンザ、ゲタウイルス感染症、破傷風の予防注射を推進して、競走馬資源の涵養と競走馬生産の安定的な維持発展に役立てた。</td><td>1歳馬　延べ　0頭
2歳馬　延べ 42頭</td></tr>
<tr><td>地域自衛防疫推進事業
（中央畜産会）</td><td>岡山県等との共催で、高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫、豚熱等に係る防疫演習を実施し、防護服等を提供した。</td><td>推進会議　2回
防疫演習　6回</td></tr>
<tr><td>地域農場ＨＡＣＣＰ認証支援事業
（中央畜産会）</td><td>農場ＨＡＣＣＰの認証取得5農場のフォローアップ指導を行うとともに、5農場において構築を進めた。また、農場ＨＡＣＣＰの構築や運用への理解を深めるため、農場ＨＡＣＣＰ認証制度研修会を開催する他、普及を図るため運用上の成果、課題等の普及推進協議会を開催した。</td><td>研修会　1回
普及推進協議会　1回
フォローアップ　5農場
（酪農2、肉用牛2、採卵鶏１）
構築指導　5農場
（肉用牛2、採卵鶏3）
認証審査　3農場</td></tr>
</table>

事業名	事業概要	実施内容
牛せき柱適正管理等推進事業 （日本畜産副産物協会）	牛せき柱の適正な管理を実施した食肉事業者に対して適正管理促進費を交付した。	食肉事業者　8業者 対象頭数　14,890頭
家畜伝染性疾病清浄化支援事業 （岡山県）	農場の飼育管理状況の調査、牛ウイルス性下痢（ＢＶＤ）の防疫対策を推進するため啓発指導を行うことにより、ＢＶＤに関する知識を普及啓発し、適切な飼育管理や検査、ワクチン接種を指導する。また、検査により摘発されたＰＩ牛（ウイルスを持続して保有・排出し、感染源となる牛）のとう汰に助成金を交付した。	農場調査　40農場 ＰＩ牛とう汰　1頭